



ぐんま東毛労基通信

	TEL	FAX	QR
太田労働基準監督署	0276-45-9920	45-5573	
労働基準協会 太田労働基準協会	0276-46-5774	46-1544	
館林労働基準協会	0276-72-8890	70-7622	
大泉労働基準協会	0276-20-1112	20-1113	

目次

太田監督署管内の労働災害発生状況	2
群馬労働局からのお知らせ 11月は過労死等防止啓発月間です	3
会員訪問 株式会社加藤工業	4
協会だより インボイス(適格請求書)対応について	5
令和5年度 署長表彰及び協会長表彰が決まりました	6
12月の講習・教育のご案内	6

令和5年度 年間標語

**危ないよ 声を掛け合い 安全確認
つなぐ言葉で つながる明日**

「総力前進」を理念とし、優れたプレス・溶接・機械加工技術で自動車部品を製造する質実剛健企業。

株式会社加藤工業(以下「加藤工業」と記します。)は、太田地区において、自動車部品(プレス・溶接部品及び機械加工部品)製造業を営んでいます。



〈製品の一例〉

ラビットスクーターから

加藤工業は昭和22年3月、加藤嘉晃社長のお父様が個人企業を立ち上げ、ラビットスクーターの部品製造を手掛けたところからスタートしました。その後、自動車産業の発展に伴い、加藤工業の業績も順調に推移し、昭和36年には有限会社に、昭和58年には株式会社に変更に、現在に至っています。

「総力前進」を理念に

先代社長は「総力前進」を経営理念とし、「一人の100歩より百人の1歩」の精神で、地道に堅実な事業を展開しました。

平成5年に事業を引き継いだ現社長は、経営方針として、「お客様第一主義を実践する、品質第一主義を実践する、決めたこと、決められたことは守るを実践する」を掲げました。特に、「決めたこと、決められたことは守るを実践する」は、社長の行動も縛るユニークな経営方針となっています。

取引先と深く付き合う

加藤工業が発展してきた秘訣を社長に訊ねたところ、「取引先に恵まれたこと、取引先と深くお付き合いさせていただいたことでしょうか。」とお答えになりました。経営の安定を考えると取引先を多く持ち、柱になりうる製品を多くすることが求められます。しかし、経営資源が限られている中で、多品種小ロットの製品をジャストインタイム方式により納入するのはとても難しいことです。従って、取引先を適正な数に絞り込む必要がありますが、そのバランスが重要になります。一方、絞り込まれた取引先と深く付き合い、信頼を得ることにより、新しい部品の開発・製造につなげることができました。

機械加工部品の製造へ

平成12年、取引先から新しいセルモータのシャフトなどの機械加工部品の製造依頼がありました。その取引先は幾つかの取引先企業に声を掛けましたが、チャレンジしたのは加藤工業だけでした。

5年間にわたる粘り強い試行錯誤と、その間の経営上の赤字に耐えた結果、遂に製品化に成功し、今では収益を支える重要な製品のひとつになっています。

労働基準連合会長表彰

本年7月、群馬労働基準協会連合会は加藤工業を労働安全衛生優良事業場と認め、連合会長表彰を授与しました。

定期的な安全衛生委員会の開催、KYT活動、積極的な健康管理の推進適切な労働時間管理の取り



〈事業所全景〉

組み、施設整備の改善と工夫の結果、20年以上にわたり労働災害が発生していないことなどが高く評価されました。

「決めたこと、決められたことは守るを実践する」という経営方針が従業員に徹底され、不安全な行動が抑えられていることが、労働災害防止の面においても、大きく寄与しているものと思われます。

次の時代へ

加藤工業の事業を承継するため、昨年、社長の娘さんである加藤貴巳さんが大病院の薬剤師を辞職し、入社されました。中小企業大学校で10か月に及ぶ合宿研修を受け、今年の8月に会社に戻ったところです。貴巳さんは薬剤師としての経験から、健康経営に興味があるとのこと。加藤工業では従来から、会社の予算でインフルエンザの予防接種を希望する従業員全員に受けさせるなど、積極的に従業員の健康確保に取り組んできました。健康経営は労働時間の短縮や労働生産性の向上にもつながるとされており、会社に新しい風が吹くことが期待されます。

時代が大きく変化する中で、これからも加藤工業は地道に粘り強くもの造りに邁進し、地域社会の発展に貢献されていくことでしょう。

取材対応

代表取締役社長 加藤 嘉晃 様
営業管理課 加藤 貴巳 様